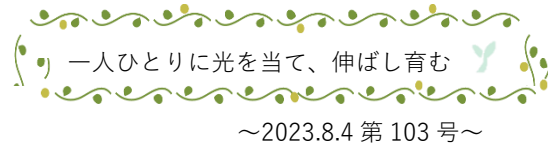


GrowrY 通信



~ Earth provides enough to satisfy every man's need, but not every man's greed. ~ Mahatma Gandhi

グテーレス国連事務総長は、猛威を振るうこの夏の酷暑に対して、「温暖化は終わり、地球は沸騰化の時代に入った」と述べました。35℃越えの猛暑日など、珍しくもなくなった昨今の夏でしたが、たしかに今年はいつにも増して暑さが桁違いのように感じます。

人類の活動によって、地球環境に大きな影響がもたらされているとして、地質学者たちが現代を、「完新世」に続く新しい地質年代とする「人新世」という呼称を提唱し、国際地質科学連合も作業部会を設けてこの考えを支持しています。恐竜をはじめとする様々な生物種の興隆や絶滅を元に規定されている地質年代に、新たに加わろうとしている「人新世」。これが後世、従来の地質年代同様に説得力あるものと認められるようになるとすれば、それは人類の滅亡を意味するのでしょうか。

にもかかわらず、いつ終わるとも知れないウクライナの戦争や、訴追されて却って支持を強固にしていると言われる前アメリカ大統領トランプ氏の動向など、国際協調・自由・民主主義といった、人類が歴史的な蓄積の中で獲得してきた英知の結晶とされるものが、揺らぎ、崩壊の兆しを見せています。

しかし、時代が、国際情勢がどうあろうと、日々の営みは大きく変化することなく継続しています。つまり、学生にとっての本分が勉強である、という命題にも変化はありません。否むしろ、混迷と混乱を深め、先行きが不透明で不安が増大する時代であるからこそ、若い世代は大いに学び、知的体力を増強し、精神力を強化する必要があると言えます。

例年に増して暑さ厳しい過酷なこの夏だからこそ、生徒の皆さんが自分を鍛えるに相応しいのではないのでしょうか。暑さと未来への不安、そんなものには負けずに、互いに精進しましょう。

※昌興美文の選
地球は、万人の必要を満たすものは提供するが、万人の強欲までを満たすものではない。~マハトマ・ガンジー

8月予定表

日	月	火	水	木	金	土
7/30	31	1	2	3	4	5
夏期講習期間						
6	7	8	9	10	11 山の日 休講日	12 休講日
夏期講習期間						
13	14 休講日	15 休講日	16 休講日	17	18	19
夏期講習期間						
20	21	22	23	24	25	26 第3回 進研模試
夏期講習期間						
27 中3入試説明会	28 夏期欠席個別対応期間	29 摂津1・3 実力テスト	30	31 五ツ木過去問演習	9/1 山田・千里丘 実力テスト	2

~ 9月以降の行事予定 ~

- ・9/1(金) 休講日
- ・9/2(土) 塾2学期開講日
- ・9/4(月) 中3C問題対策①
- ・9/5(火) 中3チャレンジテスト
- ・9/10(日) 五ツ木テスト(中3)
- ・9/11(月) 中3C問題対策②
- ・9/18(月・祝) 敬老の日(休講日)
- ・9/23(土・祝) 秋分の日(休講日)
- ・9/25(月) 中3C問題対策③



☆ 中3「数学C問題対策」が始まります ☆ 1学期期末テスト結果

最高難易度の入試問題への対策講座「数学C問題対策」が9月から開講されます。北野、茨木、豊中をはじめとした文理学科および春日丘、千里高校等への受験を目指している生徒は必ず受講してください。
※詳細は後日配布します。

6月に行われた中学生の期末テストの結果をお伝えします。中学1年生は徐々に内容が難しくなっていると感じている人も多いかもしれませんね。前回の中間テストからの反省を活かし、目標シートに意気込みを書いている人がたくさん見受けられました。以下の皆さんは、特によく頑張りましたね！



~ 450overを達成できた皆さん ~

- 中3 新井さん(山田) 中3 余田さん(山田) 中3 清水さん(千里丘) 中3 辻さん(摂津3)
- 中1 八坂さん(山田) 中1 棟野さん(摂津3)

☆ 中3「入試説明会」

入試に向けての中3生の意識の向上を図る説明会を、夏期講習を終えて受験本格モードに入るタイミングを捉えて実施します。

日程は8/27(日)の予定です。
開始時刻等の詳細は、近日中に書面にてお知らせいたしますので、当日は万障繰り合わせの上、多数ご出席頂きますようお願い致します。

☆ 第3回進研模試(小学生・中学生)

8/26(土)は、第3回進研模試を実施します。中3生は夏期講習で獲得した実戦力を発揮するテストになります。

全学年、この夏の力がきちんと発揮できるように、対策をして受けてください。時間帯は、配布のプリントを確認してください。当日受験できない人は事前に必ず申し出て、別日に受験をお願いします。

☆ 1学期の評定について

例年、All5の45点満点の生徒を顕彰していました本欄ですが、今学期も昨年同様に満点の生徒が少なく、2名に留まりました。

実技教科で取りこぼしている生徒が目立ちます。普段の取り組みや提出物等を大切にしよう心がけてください。しかし、44点の生徒が、中3を中心に10名を数え、43点も12名存在しますので、これらの生徒を核として、2学期以降、満点評定の生徒が増えるよう、指導にあたってまいり所存です。

☆ 高校生の「小論文」指導について

昨年と一昨年は、主要全国紙である朝日新聞と読売新聞という、論調が対照的な二紙の、共通するトピックスについて論じた社説を比較して読み、それについて自分なりの考えを小論文形式で記述する、という課題を、高1・2生に課しておりました。

ところが今年は、両紙が共通して取り上げたトピックスが見当たりませんでした。しかし、小論文指導に繋がる課題を与えない、という選択もあり得ないと考えます。そこで今夏は、昨年の「安倍晋三氏国葬儀」から一年を経て、主にはこの国葬儀に、またその他の問題にも関連しての、近年のジャーナリズムについての問題点について論じた、気鋭の社会学者の寄稿記事を題材としました。

最近の高校生にはややハードルの高い文章かもしれませんが、大学入試では勿論、大阪府の公立高校入試においてさえ、「C問題」ではかなり難度の高い文章が出題されます。

また、こうした論考に触れたことがきっかけとなって、自分から自主的に新刊の新書などに手を伸ばす学生が出てくれることを願っています。

さて、1学期も終わり、学校から通知票をもらってきたと思います。ある数学のよくなる生徒の評価が、5ではなく4でした。定期テストは90点以上を取れているのになぜ？疑問に思ったので、本人に確認したところ「提出物」のことでした。しかし、本人の意外と気にしていない様子に、危機感を感じました。この評価が高校入試でどう影響するのか、よく分かっていないのでは？5教科は力を入れて勉強するけど、実技教科になると授業態度やテストの取り組みが悪くなるのも同様です。2016年度から大阪の入試制度が変更され、入試に必要な内申点は中3だけでなく、中1・2の内申点も加算されるようになり、中1から入試が始まっていると言っても過言ではありません。将来、後悔することの無いよう、身に覚えのある生徒は、2学期から心を入れ替えて取り組んでください。さて、受験生にとって夏は受験の天王山です。夏の過ごし方が、受験校を決めると言っても過言ではありません。クラブ活動を引退した生徒は、クラブに使っていた時間を全て勉強に使ってください。1日10時間を目標に勉強時間を確保し、大切な2学期の飛躍につなげましょう。家で集中できない人は、積極的にGrowrYで自習することをお勧めします。
『真夏の暑さ到来！！水分・塩分はしっかり取って、心身ともに充実した成長を感じられる夏にしよう！！』
GrowrY 講師一同